

たねっとフォーラム

平成 26 年 12 月 13 日、札幌市教育文化会館で「虐待防止と差別解消に向けて」をテーマにフォーラムを開催しました。 午前中の講演では道外からお越しいただいた戸枝氏（社会福祉法人むそう）から、CBR（地域リハビリテーション）について話があり、ケアマネジメントの中核とソーシャ



ルワークの必要性についてお話しいただきました。 地域の現場で社会資源のあるなしに関わらず、地域診断を行いつつ地域の弱点にどう取り組んでいくか、課題を抱える個々の生活域でなすべきその方法を学ぶことが出来ました。

午後は、道内で地域実践している入所職員・日中活動職員・相談支援の角度から、虐待防止の取り組みや現場での悩み、そして今後に向けてといった具体的な話が報告されました。 コーディネーターの大塚氏（上智大学）から、現場で起こる虐待防止を【防止】【介入】【事後対応】の3つから構成されているとし、この3つの構図をマネジメントしていくかが大切なのではないかと虐待防止推進への提案がありました。



シンポジウムでは、実践報告を受けて阿部氏（道庁障がい者保健福祉課）より北海道障がい者条例を通して北海道がどう考えて取り組んでいるかの説明があり、竹内氏（社会福祉法人別海柏の実会）から施設現場で虐待防止に取り組む経過の紹介がありました。 又、北海道の具体的な取り組み

として我妻氏（石狩圏域地域づくり委員会推進員）より地域現場で対応してきた様々な課題の報告がなされ、午前中登壇した戸枝氏を助言者に迎え、相対的に取り組むために、後見センターの必要性などについてお話がありました。 そのほか、サービス等利用計画で本人主体にこだわる事業者や地域の覚悟や虐待・差別のない地域づくりに向けて地域で展開する自立支援協議会への取り組みの重要性が議論されました。

一日の研修を通して、虐待防止推進に向けた取り組みや行動はもちろん、地域の合理的配慮にむけて何をすべきかのヒントになったのではないかと思います。 既存におこなわれている取り組みを効果的に活用し、各市町村の自

立支援協議会を通して改善、改修に向かい合っていくことを積み上げていかななくてはならないとのメッセージは強かったのではなかったかと思います。 誰もが協力し今後に向けて常に話題にしていきたいと思います。 当日ご登壇いただきました講師の皆様、そしてご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

発達障がいのある方の支援計画作成

平成 27 年 1 月 20 日、札幌市役所内会議室にて札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの山本氏にお越しいただき、「発達障がいのある方の支援計画作成」と題し勉強会を開催しました。 発達障がいの方をより理解するため、普段のやり取りのなかで起こりやすい話や支援の在り方で起こ



りやすい混乱などを具体的にお話しいただきました。 また支援者として取るべき本人との距離感や起こってしまう困難さに対応するか等現場に役立つお話を聞きました。

さまざまな支援がある一方で、本人の行動への理解が不十分であったり、本人との付き合い方のような距離感をどう創っていくか等学ばせていただきました。

当日ご講演いただいた山本様、また熱心にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

行動障がいのある方の支援計画作成

平成 26 年 11 月 22 日、厚別区民センターにおいて、特定非営利活動法人ノーマライゼーションサポートセンターこころりんく東川の安井愛美さんを招いて「行動障がいのある方の支援計画作成」を題材に研修を行いました。

当日は札幌、石狩管内の相談支援に関わるスタッフを中心に 30 名の参加がありました。

日々サービス等利用計画や個別支援計画に関わる中で、本人中心支援計画であるためのニーズのとらえ方や、本人、家族のニーズやデマンドのバランスをどうとらえて支援チームを作っていくのか、その重要性と支援者としての立ち位置などを学びました。 また改めて、障がい特性をとらえて支援による誤学習をなくしていくことの必要性に

ついて学びました。そして最後に、計画作成にあたって留意していくことなど現場へのメッセージをいただきました。

午前中という短い時間ではありましたが、大変有意義な時間でした。講師の大友さん、ありがとうございました。